



「子ども食堂シンポジウム～アフターコロナで期待される子ども食堂の役割～」開催

11月7日（火）にこうち男女共同参画センター「ソール」で、アフターコロナの子ども食堂に期待される役割などを関係機関や県民の皆さんと考えることを目的に「子ども食堂シンポジウム～アフターコロナで期待される子ども食堂の役割～」を開催します。

当日は、認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長の湯浅誠氏の基調講演をはじめ、多様な人たちとの交流や子どもの見守り機能を有する県内の子ども食堂を運営している3団体に実践発表を行っていただきます。

1. 背景

子ども食堂は、食の提供を通じて子どもたちを見守り、保護者の孤立感、負担感を和らげるなど地域のコミュニティ拠点としての役割を果たしています。

そして、県内の子ども食堂数は100を超えており、こうした活動の広がりや、身近な地域で相互に支え合う「地域共生社会」の実現に寄与しています。

今回のシンポジウムでは、アフターコロナの子ども食堂に期待される役割などを関係機関や県民の皆さんと考えることで、子ども支援の輪を広げることを目的に開催します。

2. 内容

日時：2023年11月7日（火）13:00～16:00

会場：こうち男女共同参画センター「ソール」3階大会議室

参加費：無料

プログラム：

- 子ども食堂概要説明
- 基調講演（こども食堂と私たちの地域・社会）
- シンポジウム（3団体の子ども食堂による実践発表）

申込方法：電話またはメール、ピッピネットよりお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

社会福祉法人高知県社会福祉協議会

部署名：ボランティア・NPOセンター

担当者：山本 竜大

TEL：088-850-9100

URL：<https://www.kochiken-shakyo.or.jp/>（高知県社協）

<https://www.pippikochi.or.jp/>（ピッピネット）

E-mail：kodomo-kochi@pippikochi.or.jp

子ども食堂シンポジウム

～アフターコロナで期待される子ども食堂の役割～

子ども食堂は食の提供を通じて、子どもたちを見守り、保護者の孤立感や負担感を和らげるなど地域のコミュニティ拠点としての役割を果たしています。

県内の子ども食堂数は100を超えており、こうした活動の広がりや、身近な地域で相互に支え合う「地域共生社会」の実現に向けて住民どうしのつながりづくりに寄与するものです。

本シンポジウムは、アフターコロナの子ども食堂に期待される役割などを関係機関や県民の皆さんと考えることで、子ども支援の輪を広げることを目的に開催します。

11/7 TUE

13:00-16:00

こうち男女共同参画センター
「ソーレ」

3階大会議室

(高知市旭町3丁目115番地)

※電停およびバス停「旭町3丁目」から
徒歩1分

※施設北側1階の駐車場数が少ないため、
なるべく公共交通機関を利用してご来
場ください。

参加費
無料



講師：湯浅 誠 氏
認定NPO法人全国こども食堂
支援センター・むすびえ 理事長

日 程

12:30 受付

13:00-13:20 開会挨拶・子ども食堂概要説明

13:20-14:20 基調講演

「こども食堂と私たちの地域・社会」

14:20-14:30 休憩

14:30-16:00 シンポジウム(子ども食堂の実践発表)

「アフターコロナで期待される子ども食堂の役割」

実践発表予定団体

はっぴいこども食堂
(NPO法人
高知県介護の会)

開催：毎月1回
11:30~14:00
四万十市

秦民児協
ふれあいサロン秦
(秦地区民生委員
児童委員協議会)

開催：毎月第3土曜日
10:00~14:00
高知市

もとやま
子ども食堂
(もとやま子ども食堂)

開催：毎月1回
11:00~14:00
本山町

お申し込み
お問い合わせ

社会福祉法人高知県社会福祉協議会 高知県ボランティア・NPOセンター

電話：088-850-9100 メール：kodomo-kochi@pippikochi.or.jp

高知市朝倉戊375-1 県立ふくし交流プラザ4階

令和5年度高知県子ども食堂支援事業